道へき・複連

発行者
北海道へき地・複式教育研究連盟
www.hamanasu.com./dohekiren
委員長　阿部　政範
編集責任者　森井　智江
印刷所　白楊印刷株式会社
岩見沢市５条西１丁目　TEL0126-22-1820
題字 書家 濱谷 彩鶴（はまや さいかく）氏

全国大会を中心に活動が展開された一年間

北海道へき地・複式教育研究連盟委員長　阿　部　政　範

昨年は、未曾有の被害をもたらした東日本大震災において、学校は非難場所や復興に向けて重要な拠点としての役割を果たしました。とりわけ被災地におけるへき地・複式校は、地域の灯台として被災者に希望の光を発信し、地域とともに歩む学校としての存在の意義が再認識されたところです。

さて、道へき・複連としての一年を振り返りますと、何といっても、第60回全国へき地教育研究大会北海道大会・第60回全道へき地複式教育研究大会上川大会が、関係者のご尽力により盛会裡に終えることができたことであります。全へき新聞に掲載されていた「教師の指示でスムーズに間接指導に移行し、課題解決に集中して取り組む子どもたちの姿に、日頃からの指導の積み重ねを感じた」「学習内容の関連性・系統性を踏まえた小・中学生の協働的な学びは子どもたちの関心・意欲を高め、小・中学校の先生方の役割分担を明確にした指導は提案性のある実践であった」等の参加者の声からも、９分科会における授業実践が、全国各地のへき地・小規模・複式教育の指導に大きな示唆と道筋を示すことができました。

坂東園長の、「確固たる信念をもって動物を生かす動物園づくり」という趣旨の講演には、教育者への多くのメッセージが込められていた。全へき連会長の挨拶を含め、「全大会での熱いメッセージに心打たれた」など、全大会も好評でありました。研究大会の評価を含めた成果は近々、「大会報告書」としてまとめられますので、私たちの大きな財産として日常実践に生かし、来年度の第61回全道へき地複式教育研究大会石狩大会に研究の成果を引継ぎ、発展させていかなければなりません。

道へき・複連としましては加盟校・会員数の減少による財政面での問題等、様々な課題はありますが、智恵と情熱を結集して課題を克服し、研究を拠りどころとして共に歩んでいきましょう。最後になりましたが、この一年間、厚いご支援とご協力をいただきました関係機関、関係者に感謝とお礼を申し上げ、挨拶といたします。

平成２３年度　会務部報告

事務局長　三浦　徹

1　一般経過報告（概要）

５月１３日	平成２３年度定期総会 第１回組織検討委員会
２０日	第１回常任委員会
２３日 ～２４日	第１回企画委員会、長計策定委員会、第１回研究推進委員会
３１日	東北大震災義援金拠出周知
～６月　２日	全へき大会へ 120 万円補助 全へき春季総会、第１回理事会
４日	地区役員名簿、地区研究大会各管内事務局にメール送信
１７日	道へき・複連情報１４１号発行 全へき連春季総会議案、総会記録各管内委員長に郵送
２７日	第２回常任委員会、第２回組織検討委員会
８日	平成２３年度要覧ＨＰ掲載
７月１１日 ～１２日	第２回企画委員会、長計策定委員会、第２回研究推進委員会
26 日～27 日	全へき連第２回理事会
８月　１日	第３回組織検討委員会
２日	石狩プレ大会挨拶回り
２７日	道へき・複連ＯＢ会定期総会
９月　６日	管理職負担金制度の意見集約文書を各地区事務局に送信
22 日・30 日	全道研究大会石狩プレ大会
１０月１２日	全へき大会交流会
１３日 ～１４日	第６０回全国へき地教育研究大会北海道大会、第６０回全道へき地複式教育研究大会上川大会 全へき秋季総会、第３回理事会
２７日 ～２８日	第３回企画委員会、長計策定委員会、第３回研究推進委員会
１１月１６日	全へき連第４回理事会
17 日～18 日	全へき連　研究推進協議会
１２月　４日	道へき・複連ＯＢ会役員会
１５日	道へき・複連情報１４２号発行
１月１０日 ～１１日	第４回企画委員会、長計策定委員会、第４回研究推進委員会
２３日	第４回常任委員会
２月１６日 ～１７日	全へき連第５回理事会 第４回研究推進委員会
２５日	道へき・複連情報１４３号発行

2　一般業務報告

平成２３年度においても、研究、組織、教育条件整備等の当面する課題について解決に向け努力して参りました。概要を報告いたします。

◆　研究面では、道へき・複連の第８次長期５か年研究推進計画の３年次に当たり、第６０回全国へき地教育研究大会北海道大会、第６０回全道へき地複式教育研究大会上川大会（４市３町９分科会）、第６１回全道へき地複式教育研究大会石狩プレ大会（３市１町６会場）を開催いたしました。また、各管内研究大会も開催され、研究の深化・拡充に努めていただき、会員の授業力等、資質向上の機会となりました。とりわけ上川管内において開催されました６０回の節目となる全国へき地教育研究大会では、現地実行委員会との連携を密に全へき連、文部科学省、北海道教育委員会のご支援をいただき、全国・全道から約 1,200 名もの関係者の参加により、盛大かつ成功裏に大会を終了することができました。このことは各地区へき・複連並びに会場校の多大なご努力とご協力の賜であり、北海道における実践的な研究成果が全国に発信されるとともに、都道府県連の実践交流の機会となりました。今後の研究推進の展望を拓く大きな成果を上げることができました。全へき大会の詳細については、大会部活動報告をご覧ください。

◆　組織面では、地方財政の逼迫、児童数減少、さらには自治体における学校再編計画が示されるなどへき地・小規模校の統廃合が進んでいます。このことに伴い、加盟校及び会員の減少傾向が続いており、今後の組織や運営について、組織検討委員会の答申を受け、スリム化に向け検討してきました。しかしながら、総務部、研究部、大会部、財政部の４部と事務局の組織体制のスリム化は限界にきております。また、本年も取り組んできました ICT（情報通信技術）の活用や連盟事務局をはじめ地区事務局も含めた事務・業務の効率化をさらに進めていく必要があります。

新たにへき地校、複式校となった未加盟校へ

の働きかけについては、道へき・複連の発足の趣旨や目的等について啓発活動を行うなど、各地区での意識高揚に向けた取組をお願いしてきました。今後は、小規模中学校が参加した全国大会を期に、研究・組織面での一体化についても検討を進める必要があります。

◆　教育条件整備については、３学級４定員、教頭の無配置校の解消をはじめ、へき地・複式校の抱える諸課題に、全へき連、道小、道へき・複連ＯＢ会等とも連携しながら、関係機関に要請してまいりました。

国の「へき地指定基準」が改正され、それを基に平成２２年４月に新たな「へき地級数」が適用されました。道へき・複連としては、全へき連を通して文科省に北海道の実態について情報提供をするなどの取組を行ってきた結果ではありますが、今後においては、新しい基準がへき地の実態に適切に反映したものであるかなどの情報収集に努め、不適切な級地については国や道へ改善の働きかけをしていく必要があります。

◆　研究、組織、財政などの諸課題につきましては、今年度も組織検討委員会から中間報告を受けたところです。今後、総会時での最終報告を受け、できるところから解決・改善に努めていきます。

３　情報関係活動経過報告（概要）

５月１３日	定期総会で「道へき･複連情報」発行計画を承認
２０日	道へき・複連情報１４１号原稿依頼
６月　４日	道へき・複連情報１４１号原稿集約
２１日	道へき・複連情報１４１号発行
１０月　３日	道へき・複連情報１４２号原稿依頼
１１月１０日	道へき・複連情報１４２号原稿集約
１２月１５日	道へき・複連情報１４２号発行
１月２０日	道へき・複連ホームページ更新依頼
２３日	道へき・複連情報１４３号原稿依頼
２月　３日	道へき・複連情報１４３号原稿集約
２月２５日	道へき・複連情報１４３号発行
３月　２日	道へき・複連ホームページ更新依頼

４　情報関係業務報告

（１）情報関係

事務局で「道へき・複連情報」（141、142、143号）を３回発行し、広報活動に努めました。

１４２号では第６０回全国へき地教育研究大会北海道大会（兼）第６０回全道へき地複式教育研究大会上川大会を特集し、全体会及び各分科会の研究成果と課題等について情報提供することができました。また、第６１回全道へき地複式教育研究大会石狩プレ大会についても、研究主題や分科会会場について伝えることができました。あらためて上川及び石狩へき複連の情報提供と原稿執筆にお礼と感謝を申し上げます。

道へき・複連ホームページの内容更新は、北海道教育大学学校・地域教育研究支援センターの協力を得て行い、すでに１４２号以前のものは掲載されておりますが、引き続き１４３号も更新の依頼をする予定です。

各地区へき・複連事務局の皆様には、ご多用の中、情報提供、加盟校への種々の連絡や配付等にご尽力いただき、心よりお礼申し上げます。

＜各号の主な内容＞

【１４１号】

・平成２３年度道へき・複連「定期総会」特集
・全国大会（全道大会）、石狩プレ大会案内

【１４２号】

・第６０回全国へき地教育研究大会北海道大会（兼）第６０回全道へき地複式教育研究大会上川大会特集
・第６１回全道へき地複式教育研究大会石狩プレ大会案内

【１４３号】

・平成２３年度道へき・複連活動報告特集
・第６２回全道へき地複式教育研究大会日高プレ大会案内

《道へき・複連ホームページの内容》

・シンボルマーク、へき地教師の歌
・要覧、研究主題

・全道へき地複式教育研究大会関係
・全道へき地複式教育研究大会プレ大会関係
・北海道へき地複式教育実践研究発表大会関係
・全国へき地教育研究大会関連
・「道へき・複連情報」
・地区へき・複連情報　など

（2）「全国へき地教育新聞」関係

①「全国へき地教育新聞」拡大の取組

総会等において意義や利点を踏まえ購読拡大の取組をお願いしてきました。

・「全国へき地教育新聞」は、全国へき地教育研究連盟が編集し、教育新聞社が発行するもので、全へき連とへき地・複式校を結ぶ唯一の機関紙である。内容は、各種教育情報や教育研究大会情報、教育研究実践を発表するなど、我々がつくる我々の新聞である。

・「全国へき地教育新聞」は、読者の購読料によって刊行されており、数の減少が発行を困難にする大きな要因になってきている。

・各地区へき・複連の財政に多少の貢献がある。各地区へき・複連で納入する場合、一部につき１５０円の還元がある。

＜取組の手立てとして＞

○各地区へき・複連で地教委等、関係機関に購読料の予算化を働きかける。

○各地区へき・複連の会議、会合などで購読を呼びかける。

○各地区へき・複連に「全国へき地教育新聞」担当者または係を置くようにする。

以上のように、各地区へき・複連のご協力をいただき、購読拡大の取組をしてきました。

来年度の予約購読をはじめ、新たな申し込みがあり、全国大会に向けた各校の積極的な取り組みの成果と大変うれしく思います。

今後ますます統廃合や町村合併、市町村財政逼迫等により購読数が減少することが予想されますが、「全国へき地教育新聞」の「へき地・複式・小規模校交流の場、情報交換の場」としての意義を理解していただき、今後さらに個人購読も含め、購読について強く働きかけていきます。

②「全国へき地教育新聞」原稿執筆の取組

原稿種別、送付月を地区毎に割り振り執筆をお願いしました。各地区へき・複連のご協力と執筆者各位に心より感謝とお礼を申し上げます。新聞掲載については、順次掲載され、情報、実践の交流がなされております。

③「全国へき地教育新聞」執筆原稿依頼について

平成２３年度の原稿執筆依頼送付については、次の通りお願いしました。

全国へき地教育新聞編集局の依頼で、執筆原稿はメールまたは封書にて返信することになっていますので、次年度もそのようにお願いすることになります。

④「全国へき地教育新聞」の《原稿種別》

１．論評（市町村教育長、各局指導主事）
２．山紫水明（校長）
３．随想（教頭、教務主任、学級担任など）
４．心温まる話（どなたでも）
５．私の推薦する一冊の本（校長、教頭他）
６．やすらぎ保健室（養護教諭）
７．さわやか事務室から（事務職員）
８．わが町・わが学校（保護者）
９．研究実践校紹介（実践校）

「全国へき地教育新聞」原稿執筆者地区別一覧

（平成23年度原稿本数38本）

原稿種別番号	８月	９月	１０月	１１月
1	＊	宗谷	＊	根室
2	上川	渡島	空知	留萌
3	後志	釧路	檜山	宗谷
4	空知	胆振	渡島	上川
5	石狩	後志	日高	十勝
6	胆振	空知	釧路	日高
7	檜山	石狩	留萌	根室
8	根室	留萌	胆振	オホーツク
9	後志 宗谷	日高 オホーツク	渡島 十勝	上川 釧路

平成２３年度　総務部報告

副委員長　穴田　博樹

1　活動経過報告

５月１３日　道へき・複連総会
第１回組織検討委員会
５月２０日　第１回常任委員会
常任委員関係機関挨拶回り
６月２１日　全国基本調査依頼（全道14管内）
６月２７日　第２回常任委員会
第２回組織検討委員会
８月　１日　第３回組織検討委員会
９月２２日・３０日
第61回道へき複研究ﾌﾟﾚ大会石狩大会
１０月１２日～１４日
第60回全国へき地教育研究大会北海道大会
第60回全道へき地複式教育研究大会上川大会
１１月１４日　組織検討委員会中間報告
（評議員会が開催されなかったためメール送信）
１月２３日　第４回常任委員会

2　平成２３年度教育予算要望

総会で提案したとおり、道小の中で意見反映を行いながら、道小・道中・道教頭会と一体となって、以下の内容で要望活動を進め、各地区からの要望事項の実現に努めてきた。

〈基本的な要望事項〉
１．教員定数の配置基準および学級編成基準の改善
２．教職員の生活の安定・向上のための改善
３．教職員の資質向上に関わる研修についての改善
４．学校経営の適正化と充実への対応
５．へき地教育の推進についての改善
６．へき地勤務条件の充実

3　へき地級別指定見直しに関する取組

『へき地教育振興法施行規則』により、平成２年からおおむね６年ごとにへき地級の見直しを行うとされています。前回は、中教審で教職員給与が議論されていることを理由に１年延びたことにより平成21年に『へき地教育振興法施行規則の一部を改正する省令案』が制定され、その結果、離島実態などが基準に反映されるなど一部要望が取り入れられたが、全体的に基準点数が下がり、現行へき地級数の維持は厳しいものとなった。

『へき地手当に関する規則の運用等についての一部改訂』により、平成22年４月からへき地新級地の適用が始まり現在に至っている。次の見直しは、平成26、27年頃と考えられるので、今後も、地域の実態に応じた算定であるか、適切な調整点であるかなどの情報収集に努め、全へき連、道小、道へき・複連OB会と連携しながら、国や道へ意見具申を続けていく。

4　調査活動について

(1)全へき基本調査について

各地区連盟のご協力により、予定通り集約し、提出完了。全へき連より集約結果が届き次第、配布の予定。

(2)へき地・複式教育に関する実態調査

昨年度は、道へき・複連OB会より、道へき・複連に依頼があったが、今年度は実施していない。(3)その他調査依頼

１月末現在、依頼なし

5　組織検討委員会の活動概要

道へき・複連では、今年度も組織検討委員会を設置して、組織体制、研究活動、財政等の在り方や改善について協議・検討してきた。

(1)組織検討委員会の構成

委員長：髙橋　良輔（道南ブロック・胆振）
委　員：喜多　慎治（道央ブロック・空知）
：笹森　文夫（道北ブロック・留萌）
：丹野　　稔（道東ブロック・釧路）

他に常任委員（阿部委員長、穴田総務部長、石田研究部長、名越財政部長、三浦事務局長）を加え、計９名で構成

(2)平成２３年度の検討課題

①道へき・複連の組織体制の改善と情報のあり方
②研究推進委員会事業内容の改善の検討
③道へき・複連の財政健全化に向けての検討
④今後の全道大会・プレ大会及び全国大会についての検討
⑤次期へき地級指定見直しに関する件について
⑥各地区からの提出課題の検討

平成２３年度　大会部報告

副委員長　若林　弘士

１　第６０回　全国へき地教育研究大会北海道大会
第６０回　全道へき地複式教育研究大会上川大会

⑴ 研究主題

○全国へき地教育研究連盟

（第７次長期５か年研究推進計画の３年次）

「ふるさとでの学びを生かし、新しい時代を築く心豊かな子どもの育成」

～へき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かした学校・学級経営と学習指導の深化・充実をめざして～

○北海道へき地・複式教育研究連盟

（第８次長期５か年計画の３年次）

「主体的・創造的に学び、豊かな心でたくましくふるさとを拓く子供の育成」

～へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に未来に生きる力を育む学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

⑵ 北海道大会スローガン

「北の大地北海道で育つ子らに培おう未来を拓く力を」

⑶ 大会日程

《前　日》１０月１２日（水）

○全へき連理事会（ロワジールホテル）

○全へき連秋季総会（ロワジールホテル）

○歓迎交流会（ロワジールホテル）

《１日目》１０月１３日（木）

○全体会（旭川市民文化会館）

・開会式

・基調報告

・講演

講師　旭山動物園長　坂東　元　氏

演題「伝えるのは　いのちの輝き」

・アトラクション　　アイヌ古式舞踊

○分散会

第１分散会（旭川市民文化会館）

提言：利尻富士町立利尻小学校

第２分散会（旭川市民文化会館）

提言：鹿追町立瓜幕小学校

第３分散会（旭川市ときわ市民ホール）

提言：羽幌町立焼尻小中学校

第４分散会（上川教育研修センター）

提言：浜中町立浜中小学校

第５分散会（サン・アザレア）

提言：浦河町立野深小学校

第６分散会（旭川市勤労者福祉会館）

提言：森町立駒ヶ岳小学校

⑸ 参加者

道外２５６人、道内８９０人、計１１４６人

（分散会：４０１人、分科会：１０８９人

交流会：１５０人）

《２日目》１０月１４日（金）

○分科会（公開授業、研究協議）

Ａ分科会　名寄市立智恵文小学校

Ｂ分科会　士別市立多寄小学校

Ｃ分科会　士別市立多寄中学校

Ｄ分科会　旭川市立旭川第五小学校・桜岡中学校

Ｅ分科会　東川町立東川第一小学校

Ｆ分科会　美瑛町立美進小学校

Ｇ分科会　中富良野町立西中小学校

Ｈ分科会　富良野市立鳥沼小学校

Ｉ分科会　富良野市立山部中学校

２　第６１回全道へき地複式教育研究大会
石狩プレ大会

⑴ 研究主題

「主体的・創造的に学び、豊かな心でたくましくふるさとを拓く子どもの育成」

～へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に未来に生きる力を育む学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

⑵ プレ大会スローガン

「夢と希望を膨らませ、たくましく生きる石狩の子らに、豊かな心と確かな学力を！」

⑶ 開催期日

９月２２日（木）・３０日（金）

⑷ 分科会会場校

第１分科会　当別町立弁華別小学校

第２分科会　江別市立北光小学校

第３分科会　千歳市立支笏湖小学校

第４分科会　千歳市立東小学校

第５分科会　石狩市立厚田小学校

第６分科会　石狩市立望来小学校

平成２３年度　研究部報告

副委員長　石田　篤司

１　研究主題

主体的・創造的に学び，豊かな心でたくましくふるさと拓く子供の育成～へき地・複式教育の特性を生かし，児童一人一人に未来を育む学校・学級経営と学習指導の充実を目指して～

２　研究活動の重点と成果

道へき・複連第８次長計の３年次『実践研究検証期』の最終年次であり，第60回全へき連研究大会北海道大会においてその成果を全国的に発信する年である。また，後期『評価・発展期』に向け，さらなる実践研究を充実させ，地域に根ざした魅力ある教育活動の創造・発展に努める。

《重点》

(1)「第60回全国へき地教育研究大会北海道（上川）大会」の成功を期した，現地実行委員会との連携及び共同研究

(2)　道へき・複連第８次長計「実践研究検証期」最終年としての確かな実践と記録の累積収集

(3)　全道へき地複式教育研究大会石狩プレ大会の効果的な開催

(4)　道へき・複連第９次長計策定を目指した「長計策定委員会」の発足と計画の構築

(5) 研究資料・情報等の編集と発行（「研究主題・指導形態等一覧」「研究部情報」）

(6) 各地区へき・複連及び教育関係各機関・団体との連携

《主な成果》

◎第60回全国へき地教育研究大会北海道大会

10月13･14日，上川管内４市３町９会場で開催され，全国から1000名を越える参加者があった。大会スローガン「北の大地北海道で育つ子らに　培おう未来を拓く力を」のもと，各授業公開校では，地域の特性，小規模・複式形態等へき地教育のよさを活かした実践が披露された。また，本道へき地教育をまとめたＣＤを配布し大好評であった。

◎第61回道へき地複式教育研究大会石狩プレ大会

９月22･30日，石狩管内３市１町６会場において開催され，全道各地より延べ341名の参加があった。

大会スローガン「夢と希望をふくらませ，たくましく生きる石狩の子らに，豊かな心と確かな学力を！」のもと，複式形態の工夫，「聞く・話す」活動を通した国語科授業の創造など課題究明の手掛かりとなる研究実践が公開された。

◎研究主題・指導形態等一覧の集計と活用

全道の加盟校の研究主題・研究分野，教科等指導形態について調査・集計し，分析を加えてまとめた。

各地区及び加盟校にＣＤ化して配付，ＨＰにも掲載し活用を図っている。

３　研究部事業報告

５月23日　第１回企画・長計策定委員会
・企画委員・長計策定委員の確定と各業務内容の確認
・全へき研北海道大会の協力体制
・組織，日程の確認

５月23日～24日　第１回研究推進委員会
・平成23年度研究部計画の確認
・研究推進委員の業務・役割分担
・石狩プレ大会助言者の決定
・各地区へき地・複連活動状況交流

７月11日　第２回企画・長計策定委員会
・全へき研北海道大会進捗状況
・石狩プレ大会進捗状況
・８次長計資料蓄積

７月11日～12日　第２回研究推進委員会
・研究主題・指導形態等調査資料発行
・研究部情報第１号発行
・北海道大会，石狩プレ大会進捗状況
・８次長計のまとめ，９次長計策定に向けた準備

９月22日･30日　第60回全道へき地複式教育研究大会石狩プレ大会
・石狩管内６会場（研究協力者）

10月13日･14日　第60回全国へき地教育研究大会北海道大会
・上川管内４市３町９会場（司会・運営責任者，分科会場参加協力）

10月27日　第３回企画・長計策定委員会
・全へき研北海道大会，石狩プレ大会の集約
・来年度の実践研究発表大会運営確認
・研究部情報第２号発行内容・計画

10月27日･28日　第３回研究推進委員会
・全へき研北海道大会，石狩プレ大会の集約
・来年度の実践研究発表大会運営確認
・研究部情報第２号発行内容・計画
・各地区へき・複連活動状況交流

１月10日　第４回企画・長計策定委員会
・今年度活動のまとめと展望
・平成24年度活動計画
・９次長計策定スケジュール確認

２月16日･17日　第４回研究推進委員会
・今年度活動のまとめと展望
・平成24年度活動計画
・次年度研究推進委員会体制について
・９次長計策定スケジュール確認

平成２３年度　財政部報告

財政部長　名越 修彦

１．平成２３年度業務執行について

（１）会計業務については、事務局及び各部、各委員会、各地区へき・複連との連携を図り、計画に従って執行しております。

（２）道へき・複連会費については、当初予算より会員数が減少したため、納入額がやや減の状態となっておりますが、おかげさまでほぼ予算案通り執行してまいりました。

（３）全へき連会計についても同様に会員数の減少により納入額が減っております。全へき連への免除申請を行い、負担金を決定し、全へき連への負担金送付を終えております。

（４）刊行物の購読促進については、全へき連発行の「へき地・複式・小規模学校の実践事例集」のみの取り組みとなりました。各地区へき・複連においては発刊の趣旨をご理解賜り、ご協力いただいたことに感謝いたします。

なお、送金先については、昨年度より各地区へき・複連から直接全へき連へ納入することとなりました。

（５）運営資金会計は、予定よりも大幅に減少しましたが、納入された金額の中から規定通り全へき連へ送金いたしました。各地区へき・複連のご理解・ご協力に心より感謝申し上げます。また、今年度は、東日本大震災の義援金として６０万円、全国大会上川大会の助成として３０万円を拠出させていただきました。

２．平成２４年度の予算編成について

（１）学校の統廃合や学校規模の縮小に加え、へき地等級の見直しにより、厳しい情勢となることは必至です。予算編成の基礎資料として、３月末に各地区へき・複連の加入校数・教員数を調査し、収入予定額を把握した上で予算を編成します。各地区の担当者の皆様にはお手数をかけますがよろしくお願いします。

（２）平成２４年度の一般会計については、できる限り活動規模を縮小しないように、削減可能な項目を意識して予算編成し、平成２４年度総会に提案します。

（３）現在執行中の旅費規定は、予算編成の作業の中で検討し、削減が必要な場合ご協力を願うことも予想されます。

（４）全へき連会計は、納入される負担金の範囲内で執行します。各地区へき・複連においては引き続きへき地教員の納入拡大への働きかけや、養護教員・事務職員の納入、および未加入校の加盟を促すようお願いいたします。

（５）刊行物会計については、平成２４年度も、本道の実践も盛り込まれた全へき連の刊行物発行が予想されます。各地区へき・複連においては購読促進の取り組みをぜひお願いいたします。

平成23年度　一般会計執行状況（平成 24 年 1 月 15 日現在）

【収入の部】

費　目	23 年度予算	1/15 決算	増･減（△）
会　費	3,813,732	3,809,334	△4,398
繰越金	330,803	331,785	982
繰入金	800,000	800,000	0
雑収入	465	658	193
合　計	4,945,000	4941777	△3,223

【支出の部】

費　目	23 年度予算	1/15 決算	増・減（△）
研究大会費	510,000	510,000	0
研究調査費	2,100,000	1,655,845	△444,155
研成刊行費	700,000	500,000	△200,000
事務局費	1,635,000	1,187,727	△447,273
合　計	4,945,000	3,853,572	△1,091,428

◇学 校 数　303 校　　◇教 員 数　1759 名

【差引残高（1/15 現在）】　4,941,777 円－3,853,572 円＝1,088,205 円

第６１回 全道へき地複式教育研究大会石狩大会の開催に向けて

石狩管内へき地・複式教育研究連盟副委員長
石教研へき地・複式教育部会　部長　吉川　武志

はじめに

昨年の９月２２日に千歳市立東小学校・支笏湖小学校、９月３０日に当別町立弁華別小学校、江別市立北光小学校、石狩市立厚田小学校・望来小学校の６校を会場に、３市１町において第６１回全道へき地複式教育全道研究大会石狩プレ大会が開催されました。全道各地より、およそ３５０名の先生及び学校関係者の皆さまにお集まりをいただき、午前の全体会と授業公開、午後の研究協議におきまして、研究の深化充実に向けて貴重なご意見・ご助言をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

また、石狩プレ大会の開催にあたり、道へき・複連、北海道教育庁石狩教育局、石狩管内市町教育委員会、関係機関、協力校の皆さまの特段のご支援・ご協力、誠に有難うございました。

さて、第６１回全道へき地複式教育研究大会石狩体会は、平成２４年９月２０日（木）～２１日（金）に開催されることが決定しております。石狩管内へき地複式教育研究連盟におきましては、次年度の本大会に向け、これまでの研究成果や課題を踏まえ、一層充実した研究大会となるよう、組織をあげて研究推進に努めたいと考えております。各関係機関の皆さまには、今後益々のご指導、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

１．石狩プレ大会の成果と課題

【成果】

（１）道へき・複連第８次長期５カ年研究推進計画と関連させ、管内のへき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かし、２分野８課題による課題別研究方式を継承した研究を推進した。

・地域の教育的課題を踏まえ、家庭・地域社会と共に「豊かな心」を育てる特色ある学校・学級の創造·地域に根ざした主体的・創造的な学び合いにより「確かな学力」を育てる学習指導の創造

（２）「長期・課題別・共同研究方式」「へき地・小規模・複式形態の三特性」「生き抜く力」「豊かな心」を基本としたへき地・複式教育の充実、推進に努めた。

（３）新学習指導要領の趣旨を踏まえ、実践研究の交流を活発に行い、望ましい指導法の改善・充実に努めた。

（４)各学校の研究や各市町における研究·実践等を継承·発展させるため、研究紀要としてのとりまとめ、発行を行った。

【課題】

（１）新学習指導要領の趣旨を踏まえ、より一層、望ましい指導方法の改善・充実に努め、具体的な経営や授業実践の典型化・類型化・定型化を図る。

・見通しをどう持たせ、話し合いをどう深めるか

（２）プレ大会で明らかになった、各会場校の課題解決に向け、更に研究の充実・発展に努める。

（３）本大会の公開授業参観の視点として、各会場で､石狩管内共通の視点となる取り組みを工夫する。

２．石狩大会の位置づけ

第６１回全道へき地複式教育研究大会石狩大会は、道へき・複８次長期５カ年研究推進計画の４年次にあたります。

具体的には､石狩プレ大会の成果と課題を生かし、道へき・複連の基本理念に基づき、研究主題「主体的・創造的に学び、豊かな心でたくましくふるさとを拓く子どもの育成」のもと、石狩大会のスローガン「夢と希望をふくらませ、たくましく生きる石狩の子らに豊かな心と確かな学力を」にしっかりと取り組むことが、第８次長期５カ年研究推進計画のまとめへとつながり、第９次長期計画に向けた大きな指針と北海道のへき地・複式教育を全国に発信することにつながるものと考えます。

全体会を行う、ホテルライフォートは地下鉄中島公園を降りてすぐの場所にあり、すすきのは徒歩圏内です。石狩管内の開催地ですが、厚田は歴史ある海沿いの街、望来の丘から見る海は絶景です。また、当別の弁華別小の校舎は、日本の木造校舎百選に選ばれており、江別の北光小は雄大な石狩川の流れのすぐそばにあります。千歳の東小は、広大な畑が続く丘陵地にあり、支笏湖小は湖と温泉がある観光地にあります。それぞれが、特色ある教育実践に努めておりますので、要項をごらんになり、足を運んでいただきたいと思います。

最後に、第６１回全道へき地複式教育研究大会石狩大会に、全道各地よりたくさんの方々にお集まりいただき、へき地・複式教育の明日について、熱く語り合う機会になればと願っております。石狩管内あげて、皆さまのお越しを歓迎いたします。

第62回　全道へき地複式教育研究大会日高プレ大会

●研究主題

「主体的・創造的に学び、豊かな心でたくましくふるさとを拓く子どもの育成」
～へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に
未来に生きる力を育む学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

●大会スローガン

日高の大地に生きる　若駒のような子らに　豊かな心と確かな学びを！

●大会期日　平成２４年１０月５日（金）・１２日（金）

●大会日程 A

8:30	9:00～10:00	10:15～11:00	11:15～12:00	12:00～13:00	13:00～15:00	15:00～15:30
受付	開会式・研究発表	公開Ⅰ	公開Ⅱ	昼　食	研究協議	閉会式

●大会日程 B

8:30	9:00～9:45	10:00～10:45	11:00～12:00	12:00～13:00	13:00～15:00	15:00～15:30
受付	公開Ⅰ	公開Ⅱ	開会式・研究発表	昼　食	研究協議	閉会式

《会場によって日程が異なります。一次案内（５月上旬）にてご案内致します》

●プレ大会　会場校一覧

分科会番号	会場校名	開催期日	研究主題 ～副主題～	分野 課題 教科
1	えりも町立 えりも岬小学校	10月12日 (金)	自ら考え、伝え合い、豊かに 学び合う子どもの育成 ～聞く．話す．話し合い活動を通して～	学習指導 ６・７ 国語
2	えりも町立 笛舞小学校	10月5日 (金)	「自ら学び、伝え合い、自分の考えを 深めていく子ども」を目指して ～算数教育を通して～	学習指導 ７ 算数
3	浦河町立 野深小学校	10月5日 (金)	自ら学び共に高め合う子どもの育成 ～「読む活動」「伝える活動」を通して より良い考えをもつことができる子どもを目指して～	学習指導 ７ 国語
4	新ひだか町立 東静内小学校	10月5日 (金)	学び合う子の育成 ～学習形態の工夫～	学習指導 ７ 全教科
5	平取町立 紫雲古津小学校	10月5日 (金)	自分の言葉で考えをくみたて つたえる子の育成 ～算数科の思考場面、交流場面を通して～	学習指導 ６ 算数
6	平取町立 二風谷小学校	10月5日 (金)	自ら考え、見かたを広げ、 学び合う子どもの育成 ～説明文の読み方指導を通して～	学習指導 ６・７ 国語
7	日高町立 里平小学校	10月5日 (金)	課題をとらえ、主体的に学習に 取り組む子どもを目指して ～極少人数学級における効果的な学習指導のあり方～	学習指導 ６・７ 算数